

お知らせ

第30回岩沢まつりは8月15日(火)に開催。詳しくは後日配布されるチラシをご覧ください

岩 沢 通 信

第57号
2018年(平成30年)5月25日創刊
発行 岩沢アチコタネーゼ
岩沢地域振興協議会・岩沢分館
編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

公共事業現地踏査で振興会・町内会が要望

振興会役員、町内会長が小千谷市建設課に説明



6月27日岩沢地域を対象とした公共事業要望の現地確認作業が各町内ごとに行われた。この日は佐藤町内会長協議会長、長谷川振興協議会長、高橋山谷町内会長、佐藤市ノ口町内会長、関口岩山町内会長、小野塚大崩町内会長、駒井議員と石曾根支援員4人と要望書の出されている箇所を一つ一つ回った。



谷市担当からは「予算も限られていない中で即答は出来ないが持ち帰って検討する」との回答があった。反面、見取り提出の指示を貰った箇所もあり、今後の進捗が期待される。

自転車の走行にご注意ください

7月30日(日)に自転車のイベントが開催されます。午前7時30分に岩沢駅前をスタートした後、岩沢環状線の不動寺周辺と市ノ口まで自転車が走行します。先導車が付き参加者にも減速するよう指導いたしますが、沿道にお住まいの方も道路に飛び出さないなど十分ご注意ください。

ご迷惑をお掛けしますがご理解とご協力をお願いします。



中山間地域懇談会を開催



岩沢、真人、東山地区の共通課題に対して話し合う懇談会が7月8日宮崎市長、田中、駒井市議を来賓として迎えて、東山住民センターを会場に開催された。

今年の担当は東山地区とこのことであったが、話題提供として真人地区で始まった子育てについて、真人地区担当の渡邊支援員から地区別の人口現状や世帯の状況を含めた、子育て支援事業について説明がなされた。それによると、3地区とも今後人口が減少し超多老化、超少子化に向かうのは間違いない。問題、課題解決は急務だとしている。



岩沢寿会(近藤隆市会長)は友愛募金の集計を住民センターで行った。集まった募金は社会福祉協議会の活動や市老連友愛活動に使われるが、近年は金融機関の硬貨の扱いに手数料が発生しているため、集計に苦労しているとのこと。近藤会長は「皆さんの善意をしっかりと届けた」と話す。

寿会が募金活動に奮闘

祭涼納わさわいわホームデイ

7月12日住民センターを会場に「デイホームいわさわ納涼祭」が開催された。冒頭小泉竹夫会長は「今年度から新会長になりました。私もそれなりか迷ったが、息子が農業を継いでくれたので、もう少し地域に貢献したいと思いました」と挨拶。

アトラクションでは、昨年計画した中止となった市内で活動するフラダンスグループのステージが披露され、参加者は美しい動きに見入る。ダンスと一緒に楽しいひとときを過ごした。



岩沢まつりに向けた会議を開催

第30回岩沢まつりに向けた本部会議と実行委員会が2週続けて開催された。会議で今年度は例年通り8月15日に開催することを了承。今回は前回のように補助金は申請せず、花火も無理のない範囲で住民の寄付をいただくこととなった。開催時間やステージイベント、出店内容などについての



詳しいことは、8月上旬に配られるチラシを見ていただきたいとのこと。

国道沿いの危険回避を要望

南部地域町内会長連絡協議会は、岩沢地区にある旧渡辺工務店事務所の外壁落下の恐れがあることに対して、国道117号線を管理する新潟県長岡地域振興局小千谷

維持管理事務所に危険回避の要望を行った。7月6日川井の川上会長他真人の田中市議、地元駒井市議などの立ち合いのもと、現地の状況について緊急に確認。

その結果、**通行者の危険回避のために歩道を一時通行止め**とすることとなり、早期に規制をおこなうこととなった。詳しくは全戸配布される案内をご覧くださいとのこと。



ブナの森・林道の整備を実施

6月25日毎年恒例の岩沢地域振興協会の函山城址草刈とブナ林の整備が行われた。作業開始直後にブナ林入口から10メートルほど入ったところで、雪で折れた倒木に遭遇。急遽チェンソーで撤去する一幕もあったが、すべての作業が無事に終えた。



編集後記

先日小千谷総合体育館で開催された「ユニバーサルポッチャ大会」におちやに「吉谷分館スタッフとして審判のお手伝いに参加してきました。ポッチャに関しては皆さんご存じかとは思いますが、ヨーロッパで生まれ、戦えるスポーツです。また必ずしも同じ人数でチームメンバーを揃える必要がないのも、気軽に開催できる理由ではないでしょうか。そして、自分でもボールを投げることができなくとも、勾配具(ランプ)を使い、自分

の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。この中で私が何より感じたのは、このスポーツは技術だけでなく、相手のボールを見極めて、作戦を立てるといったカールにも似た頭脳競技だということです。大会には市内外から25チーム119人が参加して熱戦を繰り広げ、勝負にこだわるチームもあれば、ボールの投入に一喜一憂し勝敗に関係なく楽しむチームも多数ありました。その日の午後には会議と懇親会がありましたが、翌日は吉谷分館としてポッチャ大会を開催しました。(I)